



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	24,306	△2.5	432	△68.8	766	△58.0	285	△73.1
2022年12月期第2四半期	24,917	—	1,386	—	1,823	—	1,058	—

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,670百万円 (△47.7%) 2022年12月期第2四半期 3,194百万円 (11.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	18.06	—
2022年12月期第2四半期	67.14	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	55,582	31,690	52.4	1,842.86
2022年12月期	56,122	30,392	49.8	1,771.74

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 29,111百万円 2022年12月期 27,960百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	11.00	—	19.00	30.00
2023年12月期	—	16.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	0.7	2,100	△20.1	2,400	△23.4	1,300	△38.5	82.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	17,710,000株	2022年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	1,913,013株	2022年12月期	1,928,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	15,789,138株	2022年12月期 2 Q	15,767,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻の長期化による国際情勢不安を背景に、米国での高インフレと高金利の影響による消費の後退など世界的な景気後退懸念の状況が継続しております。また、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の対策が進み、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、輸入物価やエネルギー価格の上昇などによって高インフレとなり、消費マインドは伸び悩んでおり、国内外とも依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは中期経営計画のスタートにあたり、この先20年、30年という長期スパンで何を指していくのかを考え、企業パーパスを「Activate Your Life」と決めました。「Activate Your Life」とは、ステークホルダーとともに、無限に広がる界面カガクのチカラで様々な社会課題を解決し、より豊かな暮らしや輝く未来に貢献することです。この企業パーパスに基づき、中長期成長ビジョンとして『世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー』を掲げ、3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を策定しスタートしました。現在、中期経営計画の5大戦略である「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでいるところであります。

今後も激変していく経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力し永続的成長を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は24,306百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益432百万円（前年同期比68.8%減）、経常利益766百万円（前年同期比58.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益285百万円（前年同期比73.1%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### （化学品事業）

売上高は17,160百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益は444百万円（前年同期比54.3%減）となりました。

欧米アパレルの在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減により、繊維化学品の売上が大幅に減少し、新規ビジネス獲得などがありましたが、減収減益となりました。

#### （化粧品事業）

売上高は6,823百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は850百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

当社デミコスメティクスにおいては、美容サロンの来店客数減による市況悪化の影響を受けたものの、新ブランドの上市・拡販等により堅調に推移いたしました。連結子会社においては、DEMI KOREA CO., LTD. における販売や山田製薬株式会社における受託事業は好調に推移いたしました。一方で、デミコスメティクスでの戦略的なプロモーション投資等により利益は減少しました。

#### （その他）

売上高は322百万円（前年同期比43.3%減）、セグメント利益は58百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、539百万円減少し55,582百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が395百万円及び商品及び製品が314百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,837百万円減少し23,891百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が689百万円及び長期借入金が634百万円、短期借入金が350百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,297百万円増加し31,690百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が1,119百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ185百万円増加し、6,448百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは1,759百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益768百万円及び減価償却費1,101百万円、売上債権の減少額738百万円、棚卸資産の減少額636百万円等の収入と、仕入債務の減少額874百万円、法人税等の支払額531百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは501百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入550百万円等の収入と、定期預金の預入による支出485百万円及び有形固定資産の取得による支出567百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,415百万円となりました。これは主に、借入金の返済による支出（純額）1,034百万円、配当金の支払299百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月10日に公表いたしました業績予想から、現時点で入手可能な情報や予測等を踏まえ修正を行っております。

詳細につきましては、2023年7月28日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,052	7,211
受取手形、売掛金及び契約資産	10,435	10,039
商品及び製品	6,093	5,778
仕掛品	949	917
原材料及び貯蔵品	4,363	4,375
その他	962	1,207
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	29,855	29,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,147	13,214
機械装置及び運搬具（純額）	3,004	2,787
土地	5,352	5,453
その他（純額）	907	818
有形固定資産合計	22,411	22,274
無形固定資産		
その他	399	396
無形固定資産合計	399	396
投資その他の資産		
その他	3,461	3,382
貸倒引当金	△5	△1
投資その他の資産合計	3,455	3,380
固定資産合計	26,266	26,051
資産合計	56,122	55,582

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,544	5,855
短期借入金	4,300	3,950
1年内返済予定の長期借入金	868	818
未払法人税等	481	267
賞与引当金	788	689
役員賞与引当金	17	8
その他	2,987	3,139
流動負債合計	15,987	14,728
固定負債		
長期借入金	5,170	4,536
退職給付に係る負債	3,368	3,412
株式報酬引当金	160	171
その他	1,043	1,044
固定負債合計	9,742	9,163
負債合計	25,729	23,891
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,951	2,951
利益剰余金	21,006	20,991
自己株式	△1,449	△1,436
株主資本合計	25,407	25,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	570
為替換算調整勘定	2,194	3,314
退職給付に係る調整累計額	△199	△178
その他の包括利益累計額合計	2,553	3,706
非支配株主持分	2,432	2,579
純資産合計	30,392	31,690
負債純資産合計	56,122	55,582

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	24,917	24,306
売上原価	16,940	16,727
売上総利益	7,977	7,579
販売費及び一般管理費	6,590	7,146
営業利益	1,386	432
営業外収益		
受取利息	14	23
受取配当金	12	15
持分法による投資利益	39	3
為替差益	204	52
補助金収入	3	104
その他	191	162
営業外収益合計	466	361
営業外費用		
支払利息	18	15
その他	11	11
営業外費用合計	29	27
経常利益	1,823	766
特別利益		
固定資産売却益	19	3
補助金収入	124	—
特別利益合計	143	3
特別損失		
固定資産除却損	1	0
固定資産売却損	0	0
投資有価証券評価損	27	0
特別損失合計	28	1
税金等調整前四半期純利益	1,938	768
法人税等	806	417
四半期純利益	1,132	350
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,058	285



（四半期連結包括利益計算書）  
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）
四半期純利益	1,132	350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△147	11
為替換算調整勘定	2,183	1,287
退職給付に係る調整額	26	20
その他の包括利益合計	2,062	1,320
四半期包括利益	3,194	1,670
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,841	1,437
非支配株主に係る四半期包括利益	353	233

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,938	768
減価償却費	1,180	1,101
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	71	50
賞与引当金の増減額（△は減少）	△86	△100
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△5
投資有価証券評価損益（△は益）	27	0
受取利息及び受取配当金	△27	△39
支払利息	18	15
持分法による投資損益（△は益）	△39	△3
固定資産処分損益（△は益）	△18	△2
補助金収入	△124	△104
売上債権の増減額（△は増加）	116	738
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,781	636
仕入債務の増減額（△は減少）	△541	△874
未払消費税等の増減額（△は減少）	△6	△72
その他	△323	38
小計	405	2,146
利息及び配当金の受取額	60	55
利息の支払額	△19	△15
法人税等の支払額	△697	△531
補助金の受取額	124	104
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△126</b>	<b>1,759</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△249	△485
定期預金の払戻による収入	877	550
有形固定資産の取得による支出	△814	△567
有形固定資産の売却による収入	53	6
投資有価証券の取得による支出	△4	△3
その他	27	△0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△110</b>	<b>△501</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	54,864	54,400
短期借入金の返済による支出	△53,901	△54,750
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8	△9
長期借入金の返済による支出	△1,084	△684
配当金の支払額	△220	△299
非支配株主への配当金の支払額	△125	△86
自己株式の売却による収入	9	13
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△465</b>	<b>△1,415</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	573	342
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△129	185
現金及び現金同等物の期首残高	6,373	6,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,244	6,448

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,041	6,307	24,349	568	24,917
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	90	91
計	18,041	6,308	24,350	658	25,008
セグメント利益	973	1,223	2,196	49	2,245

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,196
「その他」の区分の利益	49
セグメント間取引消去	36
全社費用（注）	△895
四半期連結損益計算書の営業利益	1,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,160	6,823	23,984	322	24,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	125	127
計	17,160	6,824	23,985	448	24,433
セグメント利益	444	850	1,295	58	1,353

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,295
「その他」の区分の利益	58
セグメント間取引消去	7
全社費用（注）	△927
四半期連結損益計算書の営業利益	432

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。